

# できることより、 やりたいことを

勤務先 小野薬品工業株式会社  
(平成26年3月 薬学科卒)

栗飯原 遥奈 (あいはら はるな)



私は当初、薬剤師になることを目標として薬学部に入りました。幼少期から医療に興味があったことや、高校時代に生物、化学の面白さを知ったことから、薬剤師と

してサイエンスに触れつつ、患者さんのためになる仕事ができればと考えていました。成績による振り分けを越え、最短ルートで免許取得可能な6年制学科に進むことができました。しかし5年次の臨床実習を転機とし、将来への考え方は変化していきました。5か月間の実習を通して、想像していた薬剤師と、実際に体験した現場の薬剤師の仕事との間にギャップを感じるが増えてきたのです。これまで「薬剤師免許の取得」ばかりを考えて、どのように働きたいのかを意識してこなかったことを痛感しました。実習最終盤には、本当に自分がしたいことは何なのかを繰り返し考えるようになりました。そして、今まで考えたこともなかった「製薬会社」という道を、進路選びの選択

肢に入れるようになりました。5年次の12月から始めた就職活動でも、病院や薬局をチェックする一方、企業説明会に足を運ぶ機会も増えました。最初は開発職を志望していましたが、職種内容をよく調べるにつれ、医薬品の安全性を管理するファーマコビジランス系業務に興味を抱くようになりました。実家も徳島だったため、企業説明会や面接が多い5年次2月以降は週に3、4回大阪などへバスで移動していました。徳島では友人や先生方から書類の添削を受けたり、面接の前日に大学のキャリア支援センターで模擬面接を受けたりしていました。就職活動を通して最も学んだことは、人の支えがあるから自分は前に進める、ということでした。

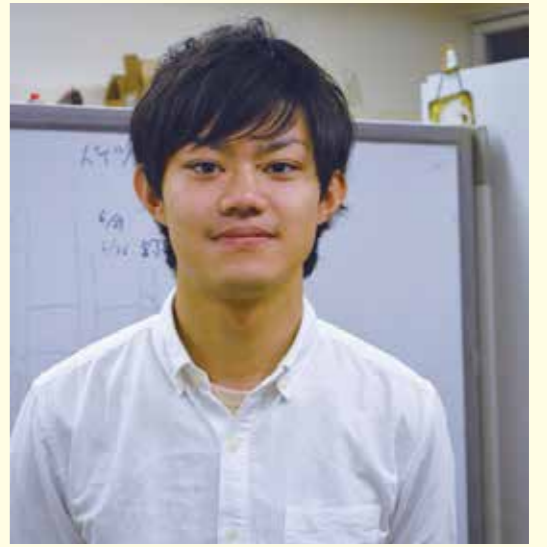
現在の就職先に内定をいただいたのは6年次の5月でした。面接中やその前後においても非常に心地よい距離で対話ができたこと、第一志望の職種であったことを就職の決め手にしました。現在は糖尿病・がん領域の製品の安全管理を行う部署で、医薬品リスク管理計画の作成に取り組んでおります。高度な製品知識や法規制度の理解が求められますが、薬剤師としてのバックグラウンドが十二分に活かせる分野です。薬学部出身で薬剤師であるという経歴は、薬剤師以外の進路にも大いに役立つと実感しております。皆さんも『薬剤師だからこう』『理系だからこう』などのイメージに捉われず、本当に自分がやってみたいことをじっくり模索してみてください。

# 就職活動記

# 就職活動はしっかり 準備・対策を

内定先 川崎重工工業株式会社  
先端技術科学教育部  
機械創造システム工学コース  
博士前期課程 2年

宍粟 雄輝 (しざわ ゆうき)



私が就職活動を始めたのは11月頃です。研究室の友人が就職活動の準備をしており、つられるよう

な形で始めました。12月から説明会が開催され、漠然と機械関係の仕事に就きたいと考えながら説明会に参加していました。1月後半から複数の企業に応募し、エントリーシートを提出しました。想像していたよりもエントリーシートの通過率が良く、幸先の良い就職活動が切れたと当時は思っていました。一次面接も複数通過し、就職活動はこのまようまゆくいくのではと楽観視していました。しかし二次面接以降になるとほとんど通過することができませんでした。選考が進んでいる企業が少なくなり、どんどん焦りがでてきました。原因を考えてみると、どの企業も浅い志望動機であったことが原因でした。二次面接になりしっかりと面接されると浅い志望動機で

は通過することができませんでした。周りをみても選考が進んでいく人は自分のやりたいことをはっきりと持ちそれを説明できる人たちであったように思います。そこで自分の志望動機を見直してみることにしました。自分のやりたいことを明確化した上で、他の企業ではなくどうしてその企業なのかをはっきりさせました。また面接での話し方にも気を付けました。友人に模擬面接をしてもらい、話し方を聞いてどのように思ったかなどのアドバイスをもらい自身にフィードバックしました。その後、臨んだ面接では二次面接以降も通過することができ(もちろん通過できなかったものもありますが)、内定をいただくことができました。お世話になった方々、本当にありがとうございます。

最後に 今年の就職活動は開始時期が変更され勝手が異なってくると思われれます。就職活動では情報が重要です。開始時期もそうですが選考が始まってからも個々の企業の選考の情報が重要になってきます。「この企業は例年このようなことを聞かれる、このような試験がある」というような情報を手にいれ、その準備をするだけでも準備をしない人と比べて大分優位になります。大学の支援室や各学科の資料室に行ったり、先輩や友人などいろいろな人と意見交換をするのも良いかもしれません。また就職活動は長期間続きます。忙しい時期、辛い時期もあると思いますが根を詰めてやるのではなく、たまには息抜きをして就職活動に取り組んでください。